

枝川スタッフが選んだおすすめ本

枝川の本棚



★9月のピックアップ★

『新学期にだけ見える星座』

似鳥鶏/著 東京創元社

ISBN: 978-4-488-47309-9



一般書

『子どもを描く 林明子の世界』

福音館書店編集部/編 福音館書店

ISBN: 978-4-8340-8918-9

「はじめてのおつかい」「こんとあき」（ともに福音館書店）など、長く愛されてきた作品を生み出した林明子さん。

本書は、これまでの創作を振り返り、作品の工夫や魅力を豊富な絵や資料とともに紹介します。絵本だけでなく、雑誌や漫画、エッセイなど幅広い仕事にも触れ、制作の舞台裏を知ること、親しんできた絵がまた違った表情を見せてくれます。

あらためて作品を読み返すと、子どもたちを大切に描いてきた深いまなざしが伝わります。

『フォークランド戦争』

北川敬三/著 筑摩書房

ISBN: 978-4-480-07753-0

本書は、1982年に英領フォークランド諸島の領有権を巡って争われたフォークランド戦争について、元海自幹部の著者が、政略、戦略、作戦、戦術、術科の5つのレベルから分析したものです。

尖閣諸島や竹島など島嶼^{とうしょ}を領土として保有している我が国において、フォークランド戦争における英国の対応と教訓は多くの学びを与えてくれるものであり、本書はその入門として位置づけられるものです。

誰もいなかったはずの部屋で割れた「さまようツボ」、密室で水平移動するガーベラの鉢植え、男子バスケット部で起きた奇妙な盗難事件。

市立高校内外で巻き起こる不可解な事件と謎に、3年生へ進級し探偵を引き継いだ葉山君が挑みます。

おなじみの登場人物に加え、期待の新入生コンビも登場する「市立高校シリーズ」5年ぶりの最新刊。この巻からでも読みやすい青春学園ミステリです。



児童書

『お月さまいつもありがとう』

メリッサ・スチュワート／文 ジェシカ・ラナン／絵

まつむらゆりこ／訳 よしむらたかし かいせつ かんしゅう ふくいんかんしよてん
吉村 崇／解説・監修 福音館書店

ISBN: 978-4-8340-8866-3

夜空でやさしく光るお月さま。月の光や形が変わることは、
たくさんの生きもののくらしとつながっています。

オサガメが海へむかったり、ライオンがえさをさがしたり、
サンゴがいっせいにたまごをうんだり……。

生きものたちは、月からどんな力をもっているのか、その
ふしぎなつながりをそうぞうすると、お月さまを見るのがもっ
と楽しくなりそうです。

3～5歳、小学1～2年生向け

『かみなりせんによといなづませんによ』

ハンガン／ぶん チンテラム／え

さいとうまりこ／やく 小峰書店

ISBN: 978-4-338-12660-1

たかいところにあるお空の国では、せんによたちがまいにち
いろいろな形の雲をつくっています。けれど、二人のおちび
せんによは雲をつくるのにすっかりあきてしまい、下の世界を
こっそり見物しに行くことに。

ゴロゴロなるかみなりや、ピカッと光るいなづまは、どうや
って生まれるのでしょうか？おちびせんによが、おばあちゃんせ
んによからもらった道具にひみつがあるのかも…？

3～5歳、小学1～2年生向け

YA(ヤングアダルト)

『なんで古墳を造ったの?』

河野一隆／著 ミヤタジロウ／画 新泉社

ISBN: 978-4-7877-2510-3



颯太、伊世、理央は歴史研究部に所属する中学2年生。顧問の太田先生から提案された今年の活動内容は、なんと半年後に開催される、日本考古学協会で研究結果を発表すること！

「なんで古墳を造ったの？」を調査テーマに、様々な古墳や遺跡へ足を運びます。訪れた先で先生から古代の鏡の破片を託された3人に不思議なことが起こり…。

古墳が作られた謎に向き合い、奮闘する彼らの姿に注目です。

中学生～高校生向け

枝川図書サービスコーナー

江東区枝川 3-6-16 (枝川区民館 1 階) 【TEL・FAX】 03-3647-6860

【開館時間】 9 時～17 時 【休館日】 月曜日・第 3 金曜日・祝日

2026 年 9 月発行